



令和4年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【上溝地区】

令和5年3月31日現在

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	上溝かるたをつくる会	すきだよ かみみぞ ～上溝かるたをつくらう～	近年、感染症対策の行動自粛等により、地域の行事や交流活動のできない状況になり、2年が経過している。この状況の収束が見えない中、地域住民同士の関わりや郷土に対する関心が希薄になることが懸念されることから、地域の関連機関と連携して地域活性化を図ることができる取組が必要であると考えた。	・地域の団体や教育機関等と連携・協力して、地域のよさや歴史などをもとにした「上溝かるた」を作成することを通して、地域交流の促進と郷土に対する関心を高める。 ・作成したかるたを地域の学校・施設・自治会などの機関や地元企業や商店街等にも配付したり、活用したりする活動を通して、上溝地域の新たな発見と新しい地域交流のあり方を提案する。	・読み札、絵札の作成を、学校や園などの教育機関、地域の団体などに依頼する。 ・作成した読み札と絵をもとにしたかるた作成を専門業者に発注する。 ・かるたを学校や園、地域の関係機関に配付する。 ・かるたを学校の行事や地域のイベントなどで活用してもらえるよう提案する。 ・「かるた取り大会」などの企画を実施し、地域交流を図る。	R4.5.25	850,000	850,000	850,000
2	上溝地区社協交流の家 (ぶらっと上溝)運営部 会	(仮称)「上溝ボランティアセンター」の立ち上げと健康づくりスタンプラリー	上溝地区内においては個々のボランティア団体が、それぞれ活動を続けていたが、新たな担い手の確保などに苦慮している。また、ボランティア活動を希望する住民にも情報を得る機会が少ないのが現状である。こうしたことから上溝地区の福祉の向上と課題解決のため、福祉サービス事業を推進し情報提供を行う拠点施設が必要となる。 また、コロナ禍においては高齢者だけでなく子どもたちも外出する機会が減り、家に閉じこもりがちになっている。 上溝地区では平成28年度に地区内の各種施設に木製ベンチを作成したが、そのベンチを修復するとともに有効活用を図る。	①(仮称)上溝ボランティアセンターを立ち上げ、福祉サービス事業を推進するとともに、ボランティア活動に関する情報発信を行う。 ②参加者が地区内を歩くことにより健康増進を図るとともに楽しみながら地区内の施設をめぐることで、地域への愛着を深め、幅広い世代間の交流促進を目的とする。	交流の家「ぶらっと上溝」を(仮称)上溝ボランティアセンターの事務所として利用する。 上溝地区内を3分割したマップに地域内の福祉施設とベンチ設置箇所を表示したものを作成し、期間を設定して、施設・ベンチ巡りを行う。コロナ禍でもあるため、施設への入場は避けて入り口付近やベンチ側面などにステッカーなどを張り付けておきそれを見つけるスタンプラリー形式で実施する。 上溝地区社会福祉協議会の福祉施設部会交流会に登録された施設約60か所と木製ベンチの設置箇所10箇所及び自治会館、公共施設等にのぼり旗等を掲げ、福祉に関する啓発とPRを行う。 また、ボランティアセンター及びマップの配布先として交流の家「ぶらっと上溝」に、新たに看板を製作して知名度の向上を図る。	R4.7.21	780,000	710,000	710,000
							1,630,000	1,560,000	1,560,000